

2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理統轄 (氏名) 森 憲司 TEL 03-3755-1111

定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	22,533	16.7	2,091	47.3	2,266	43.3	1,549	43.7
2020年3月期	27,054	6.6	3,965	27.7	3,999	25.5	2,750	24.5

(注) 包括利益 2021年3月期 1,767百万円 (26.2%) 2020年3月期 2,396百万円 (25.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	76.08		2.9	3.7	9.3
2020年3月期	131.16		5.1	6.5	14.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	61,721	54,502	88.3	2,685.92
2020年3月期	61,809	54,107	87.5	2,620.66

(参考) 自己資本 2021年3月期 54,494百万円 2020年3月期 54,100百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,767	6,124	1,643	9,270
2020年3月期	3,491	1,101	2,943	13,334

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		31.50		21.50	53.00	1,103	40.1	2.0
2021年3月期		12.50		18.50	31.00	628	40.6	1.2
2022年3月期(予想)		15.00		16.50	31.50		40.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,760		1,040		1,110		750		36.96
通期	23,980		2,180		2,320		1,580		77.87

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	21,803,295 株	2020年3月期	21,803,295 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,514,346 株	2020年3月期	1,159,707 株
期中平均株式数	2021年3月期	20,367,774 株	2020年3月期	20,966,301 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,831	18.1	1,218	57.1	1,471	51.8	1,050	52.4
2020年3月期	25,448	6.9	2,841	31.2	3,054	29.0	2,207	27.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	51.57	
2020年3月期	105.30	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年3月期	50,997		45,685		89.6	2,251.76		
2020年3月期	51,264		45,711		89.2	2,214.30		

(参考) 自己資本 2021年3月期 45,685百万円 2020年3月期 45,711百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	11,019		767		533		26.27	
通期	22,461		1,635		1,136		55.99	

(注)2022年3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の個別業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載していません。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(5)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 新型コロナウイルスの発生に伴うリスクについて	4
(5) 今後の見通し	4
(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15
役員の異動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化が続き厳しい状況となりました。日本経済においても、感染拡大防止対策を講じつつ経済活動を再開しているものの、感染の再拡大により経済活動が抑制される状況が続いており、回復には時間を要すると見込まれます。

このような経営環境の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う需要減少による販売減少のリスクに備え、テレワークやWEB会議といった新しい働き方により生産性を高め、全社での活動事業コストの低減等に努める一方で、製品PR動画を積極的に活用し、新市場での事業拡大に努めました。当連結会計年度における売上高は225億33百万円となり、前連結会計年度270億54百万円と比較すると、16.7%の減収となりました。利益面では、営業利益は20億91百万円となり、同39億65百万円と比較すると47.3%の減益、経常利益は22億66百万円となり、同39億99百万円と比較すると43.3%の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は15億49百万円となり、同27億50百万円と比較すると43.7%の減益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

[迅速流体継手事業]

迅速流体継手事業は、半導体関連製品は回復基調にあるものの設備投資需要の停滞が続き、売上高は94億45百万円（前連結会計年度比18.2%の減収）となりました。利益面では、減収により、営業利益17億5百万円（同40.9%の減益）となりました。

[機械工具事業]

機械工具事業は、建設業界向けの販売が減少し、営業活動が限定されたことにより、売上高は70億25百万円（同22.4%の減収）となりました。利益面では、減収及び生産調整により、営業利益2億60百万円（同69.6%の減益）となりました。

[リニア駆動ポンプ事業]

リニア駆動ポンプ事業は、医療機器組み込み用ポンプや新製品の販売が堅調に推移したことにより、売上高は40億86百万円（同1.8%の増収）となりました。利益面では、営業利益1億4百万円（前連結会計年度は61百万円の営業損失）となりました。

[建築機器事業]

建築機器事業は、国内とアジアでの建設業界の需要低迷により、売上高は19億76百万円（同19.2%の減収）となりました。利益面では、減収及び経費の増加により、営業利益20百万円（同92.7%の減益）となりました。

海外売上高は、71億18百万円（前連結会計年度比6.7%の減収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は31.6%となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産残高は、前連結会計年度末に比べて87百万円（前連結会計年度末比0.1%）減少し617億21百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加6億5百万円、投資有価証券の増加4億24百万円、受取手形及び売掛金の減少5億83百万円、電子記録債権の減少2億55百万円、有価証券の減少3億円等によるものであります。

負債残高は、前連結会計年度末に比べて、未払法人税等の減少4億21百万円等により4億82百万円（前連結会計年度末比6.3%）減少し72億19百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べて3億94百万円（前連結会計年度末比0.7%）増加し545億2百万円となりました。これは利益剰余金の増加8億52百万円、自己株式の増加6億75百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億97百万円、退職給付に係る調整累計額の増加1億21百万円、為替換算調整勘定の減少2億円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、定期預金の払戻による収入334億33百万円、税金等調整前当期純利益22億57百万円、有価証券の償還による収入25億99百万円等の増加があったものの、定期預金の預入による支出377億33百万円、有価証券の取得による支出26億99百万円、親会社による配当金の支払い6億96百万円、自己株式の取得による支出6億75百万円等による減少があったため、前連結会計年度末より40億63百万円減少し、当連結会計年度末には92億70百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、37億67百万円（前連結会計年度比7.9%増）となりました。これは、税金等調整前当期純利益22億57百万円、減価償却費15億1百万円、売上債権の減少額8億17百万円等による資金の増加があったものの、法人税等の支払額10億70百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、61億24百万円（前連結会計年度比455.8%増）となりました。これは、定期預金の払戻による収入334億33百万円、有価証券の償還による収入25億99百万円等による資金の増加があったものの、定期預金の預入による支出377億33百万円、有価証券の取得による支出26億99百万円、有形固定資産の取得による支出11億46百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、16億43百万円（前連結会計年度比44.2%減）となりました。これは、親会社による配当金の支払い6億96百万円、自己株式の取得による支出6億75百万円、リース債務の返済による支出2億70百万円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、次のとおりであります。

	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率（%）	87.5	88.3
時価ベースの自己資本比率（%）	57.0	63.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 （債務償還年数）	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	717.4	653.7

上記各指標の算式は以下のとおりであります。

自己資本比率＝自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額／総資産

債務償還年数＝有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ＝営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債（ただし、リース債務をのぞく）を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴うリスクについて

新型コロナウイルス感染症の発生を受け、日東工器グループの従業員ならびに関係者の皆様の感染拡大防止をリスク対応への最優先事項として、本社をはじめとする感染症が発生している地域に所在する当社グループの事業所について時差出勤、出社や出張の制限、在宅勤務などを実施しています。今後も政府・地方自治体の方針、要請に従い、体制、内容の見直しを行い、引き続き感染症予防の取り組みを強化し、事業を継続するよう努めてまいります。

また新型コロナウイルスのまん延に伴い、受注及び売上減少、部品調達の遅延、輸送手段の停止などのリスクが発生する可能性があります。リスクを軽減するため、WEBや動画などを活用した販売促進、部品発注の前倒し、物流ルートの確保など、事業活動の継続に向けた対策を行い、あわせてお客様へ製品の供給を継続するよう取り組んでまいります。

(5) 今後の見通し

当社グループにおける今後の売上見通しは、新型コロナウイルス感染拡大の影響による世界経済の減速による懸念など多くの不確定要素をかかえておりますが、需要動向を的確にとらえた販売活動を積極的に展開し、増収を計画しております。

利益面では、売上の増収を見込み、増益の計画になっております。

このような状況のもと、翌連結会計年度(2022年3月期)の連結業績予想は、売上高239億80百万円、営業利益21億80百万円、経常利益23億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億80百万円を予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な成長投資と新型コロナウイルスや自然災害など不測の事態があっても事業を継続できるよう、内部留保を充実させるとともに、株主の皆様への利益還元も充実させていくことを基本方針としており、配当性向は40%を目処にしております。

この方針に基づき、2021年3月期(65期)の配当は、通期の配当性向40%を目処に計算いたしました。既に中間配当金として1株あたり12円50銭をお支払いしておりますので、1株あたりの期末配当金は18円50銭、年間の配当金は31円を予定しております。これにより年間の配当性向は40.6%になります。

次期は、業績予想の当期純利益から配当性向40%を目途に1株当たり中間配当金15円、期末配当金16円50銭とし、年間の配当は31円50銭を予定しております。

なお資本効率を考慮し中期的に自己資本利益率ROE8%以上を目指し、資金需要、経済情勢、株価等を総合的に勘案した上で自己株式の取得も実施いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、当社グループは、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析等の取組みを実施しておりますが、国際会計基準の適用時期は未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,399	26,004
受取手形及び売掛金	4,481	3,898
電子記録債権	2,459	2,203
有価証券	5,499	5,199
商品及び製品	3,766	3,734
仕掛品	256	308
原材料及び貯蔵品	2,298	2,248
その他	396	459
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	44,555	44,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,257	11,285
減価償却累計額	△5,952	△6,230
建物及び構築物(純額)	5,304	5,054
機械装置及び運搬具	4,324	4,615
減価償却累計額	△3,117	△3,270
機械装置及び運搬具(純額)	1,206	1,345
工具、器具及び備品	7,195	7,336
減価償却累計額	△6,616	△6,745
工具、器具及び備品(純額)	578	591
土地	3,674	3,665
リース資産	2,057	2,034
減価償却累計額	△844	△877
リース資産(純額)	1,213	1,156
建設仮勘定	271	262
有形固定資産合計	12,249	12,076
無形固定資産		
その他	666	1,051
無形固定資産合計	666	1,051
投資その他の資産		
投資有価証券	2,693	3,118
長期貸付金	46	37
繰延税金資産	1,368	1,126
その他	244	273
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,337	4,539
固定資産合計	17,253	17,667
資産合計	61,809	61,721

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	798	866
リース債務	256	262
未払法人税等	557	136
賞与引当金	561	551
役員賞与引当金	21	30
その他	1,361	1,297
流動負債合計	3,557	3,144
固定負債		
リース債務	953	893
退職給付に係る負債	2,624	2,509
役員退職慰労引当金	227	333
資産除去債務	11	10
その他	326	327
固定負債合計	4,144	4,074
負債合計	7,701	7,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	52,201	53,054
自己株式	△2,216	△2,892
株主資本合計	53,759	53,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509	807
為替換算調整勘定	△3	△204
退職給付に係る調整累計額	△165	△44
その他の包括利益累計額合計	340	559
非支配株主持分	7	7
純資産合計	54,107	54,502
負債純資産合計	61,809	61,721

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	27,054	22,533
売上原価	13,591	11,958
売上総利益	13,463	10,575
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,438	2,449
賞与引当金繰入額	314	296
退職給付費用	167	205
役員退職慰労引当金繰入額	36	107
販売促進費	803	455
研究開発費	946	819
その他	4,792	4,148
販売費及び一般管理費合計	9,497	8,483
営業利益	3,965	2,091
営業外収益		
受取利息	37	26
受取配当金	69	57
雇用調整助成金	-	91
受取家賃	32	36
その他	63	97
営業外収益合計	201	308
営業外費用		
売上割引	101	84
為替差損	39	8
自己株式取得費用	17	15
その他	9	25
営業外費用合計	167	134
経常利益	3,999	2,266
特別利益		
投資有価証券売却益	30	-
特別利益合計	30	-
特別損失		
減損損失	36	-
固定資産売却損	-	8
特別損失合計	36	8
税金等調整前当期純利益	3,993	2,257
法人税、住民税及び事業税	1,257	646
法人税等調整額	△14	61
法人税等合計	1,243	707
当期純利益	2,750	1,549
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,750	1,549

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,750	1,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△362	297
為替換算調整勘定	120	△201
退職給付に係る調整額	△111	121
その他の包括利益合計	△353	218
包括利益	2,396	1,767
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,395	1,768
非支配株主に係る包括利益	0	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850	1,924	50,844	△918	53,700
当期変動額					
剰余金の配当			△1,393		△1,393
親会社株主に帰属する当期純利益			2,750		2,750
自己株式の取得				△1,297	△1,297
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,356	△1,297	59
当期末残高	1,850	1,924	52,201	△2,216	53,759

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	872	△123	△54	694	7	54,402
当期変動額						
剰余金の配当						△1,393
親会社株主に帰属する当期純利益						2,750
自己株式の取得						△1,297
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△362	120	△111	△354	0	△353
当期変動額合計	△362	120	△111	△354	0	△294
当期末残高	509	△3	△165	340	7	54,107

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,850	1,924	52,201	△2,216	53,759
当期変動額					
剰余金の配当			△697		△697
親会社株主に帰属する当期純利益			1,549		1,549
自己株式の取得				△675	△675
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	852	△675	176
当期末残高	1,850	1,924	53,054	△2,892	53,935

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	509	△3	△165	340	7	54,107
当期変動額						
剰余金の配当						△697
親会社株主に帰属する当期純利益						1,549
自己株式の取得						△675
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	297	△200	121	218	△0	218
当期変動額合計	297	△200	121	218	△0	394
当期末残高	807	△204	△44	559	7	54,502

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,993	2,257
減価償却費	1,405	1,501
長期前払費用償却額	15	18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△43	106
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	△10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11	62
受取利息及び受取配当金	△106	△84
減損損失	36	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△30	-
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	8
売上債権の増減額 (△は増加)	410	817
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△573	△11
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△28	5
仕入債務の増減額 (△は減少)	△193	84
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3	△97
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△350	△21
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△6	0
その他	11	111
小計	4,507	4,748
利息及び配当金の受取額	106	89
法人税等の支払額	△1,122	△1,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,491	3,767
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△31,364	△37,733
定期預金の払戻による収入	31,479	33,433
有価証券の取得による支出	△1,400	△2,699
有価証券の償還による収入	1,400	2,599
投資有価証券の取得による支出	△25	△19
投資有価証券の売却による収入	53	-
有形固定資産の取得による支出	△1,087	△1,146
有形固定資産の売却による収入	9	△4
無形固定資産の取得による支出	△152	△506
長期前払費用の取得による支出	△43	△31
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	9	9
その他	20	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,101	△6,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,297	△675
非支配株主への配当金の支払額	△0	-
配当金の支払額	△1,394	△696
リース債務の返済による支出	△250	△270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,943	△1,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	△62
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△500	△4,063
現金及び現金同等物の期首残高	13,835	13,334
現金及び現金同等物の期末残高	13,334	9,270

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、商品別に事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品の開発・製造に関する戦略を立案し、事業展開を行っております。

したがって、当社は、「迅速流体継手事業」、「機械工具事業」、「リニア駆動ポンプ事業」、「建築機器事業」の4つを報告セグメントとしております。

「迅速流体継手事業」は、主に産業用の流体配管をワンタッチで着脱する継ぎ手の開発・製造・販売をしております。

「機械工具事業」は、省力化機械工具の開発・製造・販売をしております。

「リニア駆動ポンプ事業」は、主に浄化槽用のブロワ、健康機器・医療機器に組み込む小型の省力化ポンプの開発・製造・販売をしております。

「建築機器事業」は、主にアームレスのドアクローザの開発・製造・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体 継手	機械工具	リニア駆動 ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	11,540	9,054	4,014	2,444	27,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	11,540	9,054	4,014	2,444	27,054
セグメント利益又は損失(△)	2,884	857	△61	284	3,965
その他の項目					
減価償却費	552	514	268	85	1,420

(注) 1 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはなっていないため記載しておりません。

3 減価償却費には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

II 当連結会計年度(自2020年4月1日至2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体 継手	機械工具	リニア駆動 ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	9,445	7,025	4,086	1,976	22,533
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	9,445	7,025	4,086	1,976	22,533
セグメント利益	1,705	260	104	20	2,091
その他の項目					
減価償却費	551	473	390	104	1,519

(注) 1 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはなっていないため記載しておりません。

3 減価償却費には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	東アジア	東南アジア	アジア大洋州	合計
19,422	1,884	1,394	2,041	732	1,579	27,054

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	東アジア	東南アジア	アジア大洋州	合計
11,018	201	153	1	753	122	12,249

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山善	5,245	迅速流体継手、機械工具、リニア駆動ポンプ他

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	東アジア	東南アジア	アジア大洋州	合計
15,415	1,708	1,428	2,150	532	1,298	22,533

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	東アジア	東南アジア	アジア大洋州	合計
11,010	182	130	0	659	91	12,076

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山善	3,628	迅速流体継手、機械工具、リニア駆動ポンプ他

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額 2,620.66円	1株当たり純資産額 2,685.92円
1株当たり当期純利益 131.16円	1株当たり当期純利益 76.08円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,750	1,549
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,750	1,549
普通株式の期中平均株式数(株)	20,966,301	20,367,774

(注) 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	54,107	54,502
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	7	7
(うち非支配株主持分(百万円))	(7)	(7)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	54,100	54,494
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	20,643,588	20,288,949

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

該当事項はありません。